

南相馬市立原町第一中学校 学校だより

# 原町一中だより



令和2年度 第4号

発行日令和2年6月12日(金)

発行者：南相馬市立原町第一中学校長 伊藤 浩樹

## 【教育目標】

自ら考え正しく判断できる生徒  
心豊かで最後までやり抜く生徒  
健康で活力ある生徒

## 【重点目標】

自他を大切にし、共に学び支え合  
う生徒  
TEL 0244-22-4144



## 本日より、部活動本格スタート

入梅の候、保護者の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのことと存じます。また、平素から本校教育活動に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今週月曜日より、部活動が本格的にスタートしました。10日には部活動編成を行って、新たに1年生を加え、どの部も活気に溢れて活動しています。

今年度の部活動の運営については、新型コロナウイルス感染防止を最優先にして、3密（密閉、密集、密接）の回避や、活動前後の手洗いの励行など、例年とは違った取り組みとなります。



中体連総合大会や吹奏楽コンクールなどの中止も決まっております。3年生はじめ生徒の皆さんには、モチベーションを保つには難しい状況ではありますが、学校としても、このような状況下でも、生徒のためにできることは何かを常に問い続け、取り組んでいきたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



## 理科の授業で、実験も可能に

現在、授業では、常に対面とならないように配慮して、全員が正面を向いて座る形をとっています。生徒同士の飛沫感染を防ぐため、理科の授業では、理科室を使用せず、そのため実験などの活動を行うことができず、教師による演示実験を見るだけの学習となっていました。

しかし、過日文科科学省から示された『学校の新しい生活様式』では、理科における「生徒同士が近距離で活動する実験や観察」は、「感染症対策を講じてもお感染のリスクが高い学習活動」にあげられているものの、【レベル1地域】では、「感染症対策を講じてもお感染のリスクが高い学習活動」については、可能な限り感染症対策を行った上で実施することを検討するとなっています。



現在のところ福島県は新規感染者もなく、この【レベル1地域】（新規感染者が一定程度確認されるものの、感染拡大注意都道府県の基準には達していない。引き続き感染状況をモニタリングしながら、「新しい生活様式」を徹底する地域）にあたるものと思います。

そこでこの度、理科室での授業については、対面での活動となることから、通常着用しているマスクはもちろんのこと、眼を守る保護メガネ（セフティグラス）を装着して飛沫感染の防止に努め、グループ活動による実験に取り組んで、学習効果を上げてまいりたいと考えております。

消毒をはじめ、感染防止には十分に配慮してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

## 暑 さ 対 策

全教室のエアコンが現在稼働しています。福島市では連日30℃を越えるなど、今週の暑さは厳しいものがありました。新型コロナウイルス感染症対策のため、学校では窓をいつも開けて、換気しております。換気しながらのエアコンは、十分に涼しい環境とはなりません。扇風機を併用しながら、暑さをしのいでいます。今年の夏は、このような形で過ごしていくことになります。

学校再開し3週間（全員登校日を含めると4週間）になります。授業も順調に進んでおり、臨時休校による学習の遅れもこの調子でいけば取り戻せるという見通しを持ってつづけているところです。

過日お知らせの通り、今年は1学期終業式が8月7日（金）、2学期始業式が8月24日（月）となっています。

暑さとの戦いの日々は始まったばかりです。熱中症にならないよう十分に気をつけていきましょう。

## ネット、LINE等のSNSの利用にご注意を

LINE、Twitter、Facebook、Instagram（インスタグラム）などといった SNS におけるトラブル、特に、ネット上での誹謗中傷による痛ましい事件が起きています。これまでも、LINE や Twitter などの SNS を安易に利用することによって、エスカレートした誹謗中傷の問題、さらには、広域にわたる不適切な交友や人間関係のトラブルなど、その危険性が指摘されてきました。

本校でも、生徒の SNS 等の利用については、十分に注意し、誤った使い方は絶対にしないよう各学年で繰り返し指導しておりますが、昨年度も生徒指導上の問題となった例もあり、さらには、犯罪等に巻き込まれることも危惧されます。また、不正請求等のトラブルに巻き込まれることも心配されます。

LINE 等の SNS は、情報伝達的手段としては便利な道具ですが、生徒同士が利用する場合、多くは排他的・閉鎖的な人間関係を助長する道具となってしまいます。特定の子を外したグループを作ったり、文字のみの伝達方法で十分に思いが伝わらず誤解を生む原因となったりと、いじめに発展する危険性があります。また、動画や写真などを安易にネット上にのせることにより、個人情報保護上、大きな問題に発展してしまうことも心配されます。

スマートフォン等で利用できる SNS には、さまざまな危険が存在し、いつ被害にあってしまうかも分かりません。また、被害を受けるだけでなく、知らず知らずに加害者となってしまう、場合によっては犯罪として取り扱われることもあります。トラブルのないよう、家庭と学校で互いに注意して子どもたちを見守っていきたいと思います。

### 保護者の皆さんへのお願い

- 1 スマートフォン等は便利な反面、大きな危険性ははらんだ通信機器であることを、この機会に再度ご確認いただき、お子さんに預け放しにならないよう目配りと気配りをご指導をお願いいたします。
- 2 学校では、スマートフォン等学校生活に不要な物を持参した場合、トラブル未然防止のため、お子さんから一時的に預かり、保護者に直接返却することを原則にしております。よろしくお願ひします。
- 3 スマホや携帯電話に関わるトラブルは、所有者責任〔保護者の責任〕での対応をお願いします。
- 4 昨年度、中体連等の各種大会や部活動などで、試合や練習の様子を撮影した写真や動画を SNS にアップしたことが、全県的に大きな問題になりました。撮影した映像や動画に映り込んでいる全ての人の個人情報の侵害にあたるためです。一度アップされた動画等は、コントロール不能です。保護者の皆様には、学校行事や部活動など、映像や動画などの取り扱いに十分注意いただくとともに、絶対に SNS 等にアップすることのないよう、ご理解とご協力をお願いします。

本校に通う全生徒にとって、本校での学校生活が楽しく充実したものとなるよう、趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。